

マテリアリティと主な取り組み——「社会と分かち合える価値の創造」の追求

マテリアリティ		重要性の背景	三菱ガス化学の主な取り組み	SDGs(ターゲット)との関連
区分	要素			
CSV 価値の創造	事業を通じた貢献 ●ICT・モビリティ社会発展 ●エネルギー・気候変動問題解決 ●医療・食糧問題解決	製品・事業を通じて「社会と分かち合える価値の創造」を追求することが、経済・社会・環境の各面から企業価値の向上につながる	PC、POM、超純過酸化水素、エレケミ、光学樹脂ポリマー、半導体パッケージ材料(BT)などによるICT・モビリティ社会の発展、地熱発電、LNG火力発電事業、機能性モノマーによるエネルギー・気候変動問題の解決、抗生薬、発酵食品などのライフサイエンス製品、脱酸素剤、MXナイロンなどによる医療・食糧問題の解決など、事業を通じて社会の発展・問題解決へ貢献	 3.6 3.8  4.4  7.2 7.3  8.1  9.4  11.4  12.2 12.3  17.3 17.16
	S 価値創造の基盤			
	働きがいのある企業風土の醸成	社員一人ひとりが個々の事情に合わせて、安心して働きがいをもちながら長期的に活躍できる制度・風土が、企業価値の創造の基盤になる	ワークライフバランスの推進、育児介護制度の充実、活力のある職場環境作り	
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	多様な価値観のコラボレーションによる文化・風土の確立が、新機軸・技術革新を生み出す	女性活躍の推進、キャリアアップ支援策の実施、仕事と家庭の両立支援制度の充実、障がい者雇用の推進	
	ステークホルダーエンゲージメント	企業価値の創出は、ステークホルダーによるリソースの提供や貢献の成果である	法令や証券取引所の定める規則に則った情報開示、ホームページや報道機関を通じた公平かつ透明性のある情報開示	
	CSR調達の推進	サプライチェーン全体における環境・労働環境・人権などのCSR水準の向上は、企業の社会的責任である	法令遵守、環境・安全に配慮したサプライチェーンの構築	 3.8 3.9  4.2 4.4  5.1 5.5  6.3  7.3  8.2 8.7  9.4 9.5  10.2
	労働安全衛生・保安防災	安全は事業活動の基盤であり、安全確保は社会への責務である	「無災害」の達成を目指した安全に関する教育訓練、労働安全衛生リスクアセスメントの実施、日常の安全活動の継続	 12.2 12.4 12.6  16.2 16.10
	省資源・省エネルギー・高効率による生産	持続可能な開発という原則の下に、その事業活動を地球環境の保護に調和させるよう配慮することは企業の責務である	環境影響の少ない資源調達、資源の効率的な使用(エネルギー、原材料、水など)	
	化学品・製品の品質・安全性の確保	品質保証はステークホルダーの信頼に基づくものであり、安全性・信頼性の高い製品・サービスの提供は責務である	サプライチェーンを俯瞰した全社的な品質保証活動(Q-MGC)の推進	
E 価値創造と環境保全の調和	新しい価値を生み出す研究開発の推進	社会の発展・問題解決に資する価値ある新たな製品・技術を生み出すことが、「社会と分かち合える価値の創造」を追求する製品・事業となる	長年培ってきたコア技術を最大限に活用した新プロセスの創出・導入、新規事業の創出・育成	
	環境問題への積極的・能動的対応 ●大気保全 ●水保全 ●生物多様性保全 ●廃棄物削減	環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件として、主体的に行動しなければならない	●RC※中期計画とRC年度計画の策定、目標達成に向けた取り組み ●TCFD対応を含むGHG排出量削減対策 ※ RC:レスポンシブル・ケア	 3.9  6.3  12.2 12.4 12.5  13.2  14.1 14.3  15.1
G 価値創造の規律	体制の強化 ●コーポレートガバナンス ●コンプライアンス ●内部統制 ●リスクマネジメント	企業がビジネスモデルを実現するための戦略を着実に実行し、持続的に企業価値を高める方向で規律付ける仕組み	適切なコーポレートガバナンスを前提として、実効性のある内部統制システムを構築し、コンプライアンスの実践やリスク管理などにより企業活動の健全性を確保	 5.1 5.5  8.7  10.2  16.2 16.5 16.10